

宮平議治議員による浄水場問題についての質疑要約

【議治議員】 座間味浄水場に関する本村の考えを聞かせてほしい。HPに「地域に受け入れられる施設建設に向け尽力していく」という村長のメッセージがあったが、村が考える方向性や説明責任と、住民に受け入れられるための十分な話し合いの場がまだまだ不十分だと思うが、村はどうお考えか？

【村産業振興課長】 水道広域化については村長の就任以来の大きな公約の1つ。平成32年度の水道広域化にスムーズに移行できるよう、施設の新設や改設についての取り組みを進めている。浄水場建設予定地の選定については建設に必要な条件等、関係法令、事業費、用地取得等を精査した結果、阿真キャンプ場が適地と判断。村は住民の意見を汲んで県企業局に自然保護、環境保全への配慮と対策を要請し、阿真ビーチに注ぐ河川には放流しないと回答を得た。環境性については明かりがもれず、静穏性に考慮する。景観については、高さを低く抑え、隣接する艇庫と同色の塗装、植栽で囲むなど、自然環境との調和を図ると聞いている。よって問題ないと判断し、阿真キャンプ場で進めることに対し異議はない。1日でも早く上質な水を提供できるよう県企業局と連携を図り、早期実現に向けて取り組みたい。住民説明会については、これまで県企業局が2回の説明会を行ったため、村としては、今後とも必要はないと考えている。

【議治議員】 村長に答えてほしいが、この事業について村長の思い入れが非常に強いものだと聞いていたが、これまで2回開催された住民説明会に1回も村長の顔はない。まだ、住民は十分に納得していないと私は考えている。課長から反対などどうのこうのとあったが、反対ではない。キャンプ場用地よりもダム下流域の方が適しており、地域住民が動いて努力をして、キャンプ場から候補地の変更を求めているという途中。こんな最終段階ではなく、もっと早い段階で住民へ説明すべきで、我々議員にはもっと早い段階で説明が欲しかったが、それもまず無かった。この事業に関して何度も住民と村との話し合いを企業局抜きでもいいからと私も要望したが、県の事業という事で、断られた。実際、この計画に関しては村がどこまで関わってきたのか、企業局任せなのか、実際は一緒になって計画を進めてきたのか伺いたい。

【村長】 水道広域化に関しては、私の就任以来、沖縄県に対して広域化を進めていただきたい要望してきた。本村においては平成32の水道広域化の実現に向けて、平成27年に県と協定を結び、それぞれの自治体と県企業局、県水道局の三者でいろいろと議論して、進めて来た。阿嘉慶留間はまだ既に話が進んでいる。座間味に関しては、ご存知の状態。用地の選定については、企業局だけで判断をしたというよりは、2、3年

前から助言をいただきながら進めてきた。住民からの何案かの中に、その一部分も入っているが、私たちとしては細かいことは分からず、面積、法令、メリット・デメリット、地権者の問題もあって、総合的に判断をして、企業局さんの方で決定していただいたと認識している。

【議治議員】 27年度からスタートという事だが、この件が表に出てきたのは、県企業局と産業振興課長が、平成30年の3月14日に阿真区長に説明したと聞いている。その1週間前の3月7・8日に、3月定例議会が開催されているが、浄水場に関する説明はなかった。次に第1回目の浄水場説明会に関する案内掲示が6月12日に貼り出されたが、それも6月定例会の最終日に掲示され、その際にも我々議員に何の通知も説明もなかった。議員に事前に説明をして、しっかりと住民と議論していく気持ちは行政に無かったのか、何故、そういう形がとられたのか伺いたい。

【村産業振興課長】 議員の先生方に説明が出来なかったことは深くお詫び申し上げます。当初5月に説明会を開催しようと考えたが諸事情あり、6月18日になった。

【議治議員】 企業局も村も、この件に関して話が二転三転している。この浄水場建設に関して、いろいろ調べたが、平成27年度の村長の施政方針の中で第9番目の簡易水道事業については「平成27年度は県や企業局と連携してマスタープラン策定業務を行います。県による浄水場施設等の整備に当たっては企業局任せにすることなく、協働して取り組んでまいります。」とあることから、実際に村は企業局としっかりやりとりをしながら、土地の選定など色々進めてきたと思う。なので、住民説明会等で時間が無い、時間が無いと言って、今の場所で進めようとしているが、何故もっと早く我々議員への説明や、住民説明会がもっと早い段階で出来なかったのか伺いたい。

【村長】 住民説明会が遅かった、議員の皆さんに対する説明もなかったという事に関しては、私たちも深く反省をしないといけない。本当に申し訳ございませんでした。ただ、この水道化広域については、懇親会などいろんな所で紹介をさせて頂いた。議治議員も言うように、事業自体には大賛成だと言うことも踏まえ、一生懸命この負託や期待に応えようと頑張ってきた。企業局とは27年に協定を結び、それから定期的に担当が意見交換し、用地や浄水をする方法、量、地域特性、気候、地形も含めて、どういった海水淡水化がいいのかなど協議してきた。確かに事業主体の県企業局に音頭を取ってもらって私どもも説明会に参加、意見交換に参加をし、その場で私たちなりの考え方を述べてきたので、企業局任せではなかった。代替案については3案ほど見たが、色々な制約等々があり、やはり、阿真キャンプ場が一番いいのではないかとこのころが最終的な結論になる。大きな一つの問題が放流水だと私は認識しているが、それに関しては

しっかりとしたデータ取りが出来ないと、中々前に進まないのではというふうに思ったのは事実であるが、県企業局が、しっかりと専門家の話を聞き、カメには大きな問題がないとデータを集めてきた。最終的に県企業局のホームページにも掲載されている通り、放流水は、阿真ビーチには流さないという回答を得たことで、1番大きな問題をクリアしたと。景観についても、住民からの代替案よりは確実に阿真キャンプ場の方がいいと考えている。

【議治議員】 全然そこにこだわる理由が分からないが、施政方針の中の8番目、環境保全については「本村の恵まれた自然環境は村創りには欠かすことの出来ない貴重な財産です。平成23年3月5日に国内では31番目の国立公園として、慶良間諸島国立公園に指定され、国内及び海外から観光客が増加しましたが、一方で自然環境保護の重要性も高まっています。今後、座間味村の自然環境を保全するとともに大きな財産であることを認識し、環境省をはじめ関係機関と連携を密にして、環境保全に取り組んでまいります。」とある。景観に支障がない建物を考えると言っているが、排水問題を解決することによってこの問題を解決しようという動きになっている。どんなに環境に配慮した建物を作ったからって、実際にコンクリートの建物がある場所に建つわけで、景観は確実に変わる。だから、排水問題だけでなく、ダム下流域の案も検討してほしい。除外された理由の一つが細かい土地がたくさんあって用地の確保が困難だということで、副村長も、用地交渉で2年3年かかるかもしれないと答えたが、実際、住民が動いて、わずか一ヶ月たらずで、用地に関しては地権者から同意を得て、この事業に必要な、建設に必要な用地を確保はできた。除外された理由に当てはまらないと思うが。

【村長】 代替案の中でダム下流域と現行案について説明したい。ダム下流域は農地法に被っている部分がある。確かに、以前、ダムをつくる時に残土をこの近辺に埋めたため農地として使えないという話もあるが、私や農業委員会の役目として農地を守るというのも一つの大きなこと。私からするとダム下流域に建物をつくる方が余計に景観上目立ってしまうんじゃないかと考えている。阿真キャンプ場には、艇庫や交流センターがあるので、そこに合った建物を作れば良い。そこは農地法が被ってはいない。景観を保全するような植栽や塗装、建物の高さも低くするという話もあるため、私は、ダム下流域より阿真キャンプ場がいいと思っている。

【議治議員】 キャンプ場用地に景観に配慮した施設の建設が可能なら、ダム下流域にも可能だと思うが、矛盾してないか？

【村長】 ダムの下流域には何もない。草原にポツンと建つ。一方で、阿真キャンプ場用地は、ほとんど今、活用されてない。既存の公共施設もあるから、違和感がないの

は、私は、ダム下流域よりは、キャンプ場ではないかと思う。

【議治議員】 私は、奥にダムがあって、手前には下水処理場、その中間に浄水場ができ、その直線上に海水淡水化施設があるというのは、普通に考えたら、全然、自然な流れだとは思うが？

【村長】 道路からダムの方を見るとほぼダムの形状は見えない。下水場施設は山と山の合間の奥まった所にあり目立たないので、浄水場は目立つと思う。

【議治議員】 ダム下流域でも景観に配慮した施設を作れば、全然不自然ではない。また、予算面についても、キャンプ場だと距離があるため、配管整備などダム下流域の方が予算を削減できると思うが？

【村長】 積算は座間味村で行っていないので答えられない。

【議治議員】 ダム下流域よりキャンプ場の方が管の整備等で経費がかかる。また、キャンプ場用地に浄水場ができた場合に、今後、送水や貯水タンクなど新たな施設が建設されたりしないのか？いずれにしても、最初に言ったように、住民がまだ納得していない段階でこの事業を押し進めるのは、私はどうかと思う。村長も、宮里村政が掲げる座間味村第四次総合計画の中で、座間味村の基本方針の人づくりの中に「地域のために積極的に行動する村民と、村民のニーズを高めて地域にしっかりと寄り添う行政、その協働によって、この島々に夢を抱くことができ、希望を持てる地域づくりを目指します。」と謳っているが、今、村が取ってる行動は、そことは真逆の行動、住民の意思を全く、くみ取ってないような行動に私は思う。その辺はいかがか？

【村長】 ご意見として受けたまわる。

【議治議員】 しっかりといろんな意見を反映させることで、島に住む住民一人一人が村の恩恵にあやかり、一部のための行政ではなく、島に住む幅広い人たちが豊かに生活することにつながると思う。まだまだ住民への説明が不足しているので、もっと議論を尽くすべきだと思っている。後々、後悔しないためにも、私は戦っていくつもりだ。この件に関しては、絶対、キャンプ場用地に建設することは、私は理解できない。

終了

(傍聴席から「素晴らしい」と議治議員を褒めたたえる声と拍手が上がる。)